

短期研修

【①ウィスコンシン大学ラクロス校短期研修（アメリカ）】研修体験報告書（1）

研修時の 本学の所属・学年	初等教育教員養成課程 1年
研修期間	期間：2023年2月27日～2023年3月21日
研修先の国、研修先・訪問先	国：アメリカ 研修先・訪問先：ウィスコンシン大学ラクロス校
研修参加目的・動機など	私は、ずっと留学することが夢でした。私は留学を通して、自分の視野を広げ、異文化を体験することで、いろいろな考えを理解できるような人物になりたいと考えています。しかし、様々な事情で長期の留学には踏み出せずにいましたが、このラクロス短期研修は春休みの間だけ留学に挑戦できる貴重な機会だと思い、参加を決意しました。
研修参加を考え始めた時期	大学入学前
求められた語学力 及び具体的な準備内容	(求められた語学力) 英検2級～ 自分の言いたいことを表現できると楽しいと思います！ (準備内容) この研修に向けて英語習得院のELI講座をとっていました。
情報収集方法	実際にこの研修に参加された先輩から
居住環境	私がお世話になったホストファミリーの家は、個室が用意されていました。
研修先に持参した方がよいもの	風邪薬、小さめのバック
物価（食費、住居費等 日本の物価と比較して）	私がアメリカに滞在していた際は、1ドル=130～140円でした。大学のカフェテリアなどでは、6ドル～10ドル、バディなどと外食する際は10ドル～25ドルほど使ったのでお手頃価格とは言えません。（チップを合わせての値段です）

研修の必要総額 (渡航費、生活費を含む)	総額 586,000 円 フライト料金 266,000 円 研修費用 約 30 万円 海外旅行保険 13,000 円 その他 (お土産代、食費など) 約 7 万円
治安状況	治安はとてもよく、不安は感じなかったです。
その他注意すべき事項	手荷物は2個まで持ち込むことができるので、大きめのスーツケースを2つ持っていくことをお勧めします。 また、コロナの予防接種証明は、接種証明アプリをダウンロードし、登録しておくとお安いです。登録の際には、マイナンバーカードが必要となるので注意してください！
<p>留学・短期研修等体験レポート (自由記述)</p> <p>私は、ウィスコンシン大学ラクロス校研修で多くのことを学ぶことができました。この研修を通して、コミュニケーション能力や、自主性を身につけることができました。そして、現地の学生の向学心に刺激を受け、学習意欲を向上させることができました。UWLの学生は、フレンドリーで自分の興味のあることに対して、自主的に学びに向かう姿勢がとても印象的でした。そのような学生たちの姿を見て、自身の学問との向き合い方を考えさせられました。実際に、日本人学生が開催したプログラムでは、多くの学生が参加してくれました。また、ディスカッションでは、日本に興味のある学生たちが、私たちに日本の文化や習慣について質問してくれました。お互いの文化や、教育の制度などを話し、とても有意義な時間にすることができました。その他にも、この研修では多くの幼稚園や小学校、中学校を訪問しました。それぞれの学校で、「おりがみ」と「書道」の2つの日本の文化を紹介し、体験してもらいました。この活動では、アメリカの学校の制度や、習慣を実践的に学ぶことができました。海外の教育現場を学びたかった私にとって、大変貴重な経験となりました。自分たちで考えて子どもたちの年齢に応じて、臨機応変に教える内容を変えたり、説明の方法を変えたりと実習のような体験もすることができました。この研修で学んだことや、体験は決して日本では学べないことばかりだと思います。英語の能力に関しては、3週間ではリスニング能力が向上し、簡単な会話ができるようになるくらいです。しかしそれは、表面的なことであって、見えない部分で、私は大きく変わったと実感しています。この研修をサポートしてくださった全ての方に感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。留学に少しでも興味のある方は、ぜひこの研修に参加してほしいと思います！</p>	

【①ウィスコンシン大学ラクロス校短期研修（アメリカ）】研修体験報告書（2）

研修時の 本学の所属・学年	初等教育教員養成課程 2年
研修期間	期間：2023年2月27日～2023年3月21日
研修先の国、研修先・訪問先	国：アメリカ 研修先・訪問先：ウィスコンシン大学ラクロス校
研修参加目的・動機など	高校生の頃から日本の外へ出て違う文化に触れることが夢であったため、入学当初から絶対に留学に行くことと決断していた。はじめの志望理由は実際の英語に触れたいという思いであったが、留学が始まってからは、日本との違い、良さを見いだそうという目的を持って参加した。
研修参加を考え始めた時期	1年生でこの研修があることを知ったときから
求められた語学力 及び具体的な準備内容	(求められた語学力) 特にない。強いて言えば日常会話 (準備内容) 特に準備したことはないが、自分が何をしたいのかを明確にして参加した。
情報収集方法	説明会、polaris
居住環境	ホームステイ一週間、その他ホテル。快適。
研修先に持参した方がよいもの	研修前に指示あり。ただ、今回は大学のバディが二人いたため、お土産は余分にあっても良いと思う。
物価（食費、住居費等 日本の物価と比較して）	やや高め。（私達の時は1ドル136円くらい）
研修の必要総額 (渡航費、生活費を含む)	総額 65万円
治安状況	良い
その他注意すべき事項	お土産を買ったら荷物が増えるため、スーツケースは二個持って行くべき

留学・短期研修等体験レポート（自由記述）

①研修によって身についた能力（具体的に）

研修によって身についた「能力」と言われると難しいが、研修を通して英語を恐れず話すことができるようになった。英語が得意な人もいて、その人に頼りっきりになることもあったが、自分で話すべきときは話そうと努めることができた。今まで、英語の講義で間違いを恐れず話すことが大切だと学習しても、いざ話すとなると戸惑ってしまうことが多かった。しかし、実際に話さなければコミュニケーションがとれない環境に自分が立つと、間違いなど気にしてられない。実際に経験したからこそ間違いを恐れない大切さを学べ、恥ずかしいという殻を抜け出せたのだと思う。

②研修のどういう部分が教員になる上で役に立ったか

研修の中には、アメリカの幼稚園～高校まで日本文化（折り紙・書道）を教えに行く機会があり、アメリカの教育を実際に見ることができた。そこで、日本での教育にも活用できる部分を見いだすことができた。一番は騒がしくなったときに注目させる方法である。日本では先生が「静かにしなさい」と声を上げるイメージが強い。やはり、これは児童からしても命令されているように感じ、少し萎縮してしまうのではないかと思う。アメリカは教師が手拍子すると児童が手拍子で返すという方法で注目させていた。できていないから怒るという手段ではなく、他に工夫する部分を見いだすことは大事であると感じた。手拍子以外にも、合い言葉や短い歌などがあったため、私も教師になったら参考にしたいと思う。



③私が留学に行ったら良かったと感じること

留学と聞くと、全く違う世界に飛び込むため、行きたいと思っても勇気がでない人が多いと思う。しかし、留学のメリットは数え切れないほどあるため、このレポートを見て、少しでも留学に興味を持ってもらいたい。

☆自分の世界観・価値観が広がる！

国が違うだけで文化も言語も考え方も大きく異なる。それに実際触れるだけで、小さい世界しか見ていなかったのだと気付くことができる！

☆自分のことを考えるきっかけに！

大学で授業を受けたとき、自分はどのような人間なのか考え、趣味などではなく、性格面に着目した自己紹介をした。日本人は人に言われたからこういう性格だと思ふと考えることが多く、自己肯定感が低いということに気付いた。自分に自信をもって過ごせるようになりたいと考えるようになった。

☆世界にも友達が！？

大学では、バディが1人ずつ付いてくれる。バディとは留学が終わってからも連絡を取り合うぐらい大切な友達を見つけることができた。私のバディはもうすぐ日本に留学に来るため、会いに行こうと思っている。

【①ウィスコンシン大学ラクロス校短期研修（アメリカ）】研修体験報告書（3）

研修時の 本学の所属・学年	初等教育教員養成課程 3年
研修期間	期間：2023年2月27日～2023年3月21日
研修先の国、研修先・訪問先	国：アメリカ合衆国 研修先・訪問先：ウィスコンシン州ラクロス校
研修参加目的・動機など	私は、高校時代に留学をするなど、以前より外国の文化や言語等に 興味・関心があり、大学に進学後は留学がしたいと考えていました 。そして、進学後、ラクロス校への短期留学という大学の案内を見 つけ、応募しました。
研修参加を考え始めた時期	大学1年生
求められた語学力 及び具体的な準備内容	(求められた語学力) ・日常会話ができる程度の語学力 (準備内容) ・留学に向け、積極的に洋楽を聞いたり洋画を観たりした。
情報収集方法	大学のホームページ・ポータルサイト
居住環境	とても良かった。
研修先に持参した方がよい もの	大量の折り紙（種類豊富）
物価（食費、住居費等 日本の物価と比較して）	円安の影響もあり、全体的に高い。
研修の必要総額 (渡航費、生活費を含む)	総額約65万
治安状況	良い。
その他注意すべき事項	特になし。

留学・短期研修等体験レポート

私は、大学に進学後は留学を絶対にしたいという思いが、高校時代よりありました。しかし、大学に入学時、新型コロナウイルスの影響もあり、思うように留学を実施することができない状況でした。実際に、私は、大学1年生の頃、このラクロス研修に参加する予定でしたが、来年度に延期されてしまいました。そして、ようやく、大学2年生の2月、この研修が実施されました。

この研修に参加したことで、自分自身が、どれだけ大学2年間において、言語（英語）という勉強をおろそかにしてしまったのかという現実を突きつけられました。具体的には、この研修では、現地のウィスコンシン大学ラクロス校へ行き、学校で授業を受けたり、現地の大学生と交流する場面が多く設けられているのですが、英語を聞き取れても、自分の伝えたいことを十分に伝えられる英語能力の無さです。また、ホストファミリーの家にホームステイをするのですが、そこでも、今日の出来事や、伝えたいことを早く十分に伝えられる英語能力の無さを感じました。ですが、この研修で、英語力を向上させるために、拙い英語であっても、英語の授業では積極的に発言したり、バディと沢山、コミュニケーションを取ったり、ホストファミリーには自分から今日あった出来事や感じたこと、面白いエピソードを話そうと努力をしました。留学初日は、自分の英語力に落ち込んでしまったのですが、2日目以降は、留学できていることに感謝して、1日1日を無駄にしない様に、積極的に英語を使うようにし、留学前に比べ英語を話し使う力が身に付いたのではないかと考えます。その他にも、この研修では沢山のことを吸収できました。大学の授業では、授業を受けている人達にとって飽きず面白い授業とはどのようなものかを、肌で実感する機会になりました。具体的には、ただ先生が授業をするのではなく、学生に考えさせたり発言させたりペア活動をさせたりとアクティブラーニングを用いた授業をしていました。そして、授業により集中してもらうために、間で、英語を使うゲーム感覚で楽しめる時間を設けてくれたりと、授業を受ける側にとって、意味のある授業を展開してくれていました。また、実際に、現地の幼稚園・小学校・中学校・高校・インターナショナルスクールへ訪問した際に、日本の教室にも授業にも取り入れることでより良い教室や授業になるのではないかと感じた場面が多くありました。将来、教員を目指している私だからこそ、この研修は、語学留学のみの留学では学べない内容を学び、経験できたのではないかと感じています。現地の学校では、ただ訪問しただけでなく、子ども達に、日本の文化である「折り紙」「習字」を英語で説明し、教える活動もしました。英語でこれらの説明をするのでさえ簡単なことではないのですが、今回は、それに加え、年齢も様々で理解能力も異なる子ども達に、自分達だけで

、教え、楽しんでもらえるよう工夫をし、日本では経験できないことも多く経験し、自分の力になりました。今回の研修では、全日程がハードスケジュールで、休む暇もなかったのですが、それ程充実したプログラムを組んでくださり、私たちにより多くの経験や体験をさせ、沢山のことを吸収させてくれようとして下さっていたのだなと感じ、感謝しかないラクロス研修となりました。

【①ウィスコンシン大学ラクロス校短期研修（アメリカ）】研修体験報告書（4）

研修時の 本学の所属・学年	初等教育教員養成課程専攻 3年
研修期間	期間：2023年2月27日～2023年3月21日
研修先の国、研修先・訪問先	国：アメリカ 研修先・訪問先：ウィスコンシン州 ラクロス
研修参加目的・動機など	大学時代に海外滞在を経験し、アメリカの文化に触れ自分の英語力や生きる力を伸ばしたいと思ったため。また、ホームステイやアメリカの学校を訪問することで日本との違いを知りたかったため。
研修参加を考え始めた時期	大学2年
求められた語学力 及び具体的な準備内容	(求められた語学力) 中学英語レベル かそれ以上 (準備内容) 意欲
情報収集方法	インターネット
居住環境	ホームステイ(約1週間) 後 ホテルステイ(約2週間)
研修先に持参した方がよいもの	あたたかい上着、水を通さない服、薬、クレジットカード
物価（食費、住居費等 日本の物価と比較して）	食費は日本より高い
研修の必要総額 (渡航費、生活費を含む)	総額 66万円
治安状況	とてもよい
その他注意すべき事項	・支払いはほぼクレジットカード ・アメリカでスマホを使用できるようにしておくこと ・スーツケースは2個がおすすめ
留学・短期研修等体験レポート（自由記述）	
① 研修によって身についた能力は、広い視野で物事を見る能力と外国人相手	

にひるむことなく話しかける能力である。

まず、広い視野で物事を見る能力については、日本にいたときの自分は物事を凝り固まった視点から見るが多かったが、自由に生き自分のアイデンティティーを決して見失わないアメリカ人のその国民性とやさしさ、親切心に触れ何事も柔軟に自由に生きることが大事だと気づいた。また、興味あることに対して積極的に挑戦することの大切さも学んだ。次に2つ目の外国人相手にひるむことなく話しかける能力については、アメリカに行って一番身についた能力であるとともに必要な能力だと考える。アメリカ到着後すぐにホストファミリーや大学の職員の方たちと対話することになるのだが、最初は何を言っているのかほとんどわからず、ただ聞き取れた単語から内容を推測する日々であったため、自分の意見を伝えることや英語を使うことに対して臆病になっていた。しかし、それでは人とコミュニケーションをとることも昼食を注文することもバディーと対話することもできないことに気づき、文法は気にせず自分の言いたいことを伝えようとするようになった。また、自分の英語力が不安で常にGoogle翻訳を片手に行動することが当初は多かったが、検索してみると案外簡単な文法や単語である場合が多かったこともひるまず英語を話してみようと思うきっかけだったように感じる。ウィスコンシンの人たちは優しい人が多く、私のつたない英語も最後まで聞いてくれ間違えているところはきちんと教えてくれる。そのため、自分の英語力よりも伝えようとする気持ちの方が大切であることが分かった。さらに、自分の中で大きかったのは一緒に行った日本人学生の存在である。みんなそれぞれ四苦八苦しながらも英語でコミュニケーションをとろうとしている姿を見て、自分も頑張ろうと思うようになった。アメリカで3週間滞在した中で一緒に行った日本人学生の存在は自分にとって大きなものであった。

最初は苦しむことも多いが英語力以上に多くのことを学べる3週間であるため、これからも外国に行って様々な文化や人に触れる機会を作っていきたいと思う自分の人生にとって大きな経験となった。

- ② 研修の中でかなりの時間を占めていたアメリカの小学校、中学校、高校を訪問し折り紙や書道の授業を行う活動が教員になるうえでとても役に立つと考える。これまで大学の授業で国語や算数等の授業の行い方や日本人の子どもに対して授業を行う経験はあったが、言語の違う子どもたちに授業を行うことはなかったため最初は指示を伝えたり子どもたちの意見を聞き取ることも難しく感じていた。しかし、すべての授業において子どもたちはとても興味をもって活動してくれたためその姿勢に感動したとともにそれにこたえようと思う気持ちも大きくなり、自分たちで授業内容を改善したり英語でより

詳しく説明したりするようになった。このような、臨機応変な対応や子どもたちの興味に合わせた追加の活動を行えるようになったことは教師になるうえでとてもよい経験になったと思う。さらに、学校によって子どもたちの特徴がかなり違ってくることに気付けたこともこの研修に参加してよかったことであると考えている。

私は当初、アメリカに行きたいという気持ちが先行してこの研修に参加したが、実際行ってみて自分が予想していたより多くのことを知り学ぶことができた。日本で英語の勉強をすることも大事だが実際に英語を使わざるを得ない状況に身を置くことで自分の能力値や人のやさしさを感じることができた。ただアメリカに旅行するのではなくアメリカの大学に3週間滞在し小中高を訪問したりホームステイをする経験はこのプログラムでないと経験できないものであると思う。大変なことも多いが、それ以上に自分の人生の中で大きなものとなる3週間であった。

【①ウィスコンシン大学ラクロス校短期研修（アメリカ）】研修体験報告書（5）

研修時の 本学の所属・学年	初等教育教員養成課程 3年
研修期間	期間：2023年2月27日～2023年3月21日
研修先の国、研修先・訪問先	国：アメリカ合衆国（ウィスコンシン州） 研修先・訪問先：ウィスコンシン大学ラクロス校
研修参加目的・動機など	<ul style="list-style-type: none"> ・海外に行ったことがなく、実際に英語を話す環境に行ってみたいと思ったから。 ・社会人になる前に留学に行ってみたかったから。 ・海外の生活や文化に興味があったから。
研修参加を考え始めた時期	大学1年生
求められた語学力 及び具体的な準備内容	（求められた語学力） 日常会話 （準備内容） 日本文化のポートフォリオ、現地の学校で教える書道の準備
情報収集方法	留学に参加した先輩方
居住環境	ホームステイ(1週間)…2人部屋 ホテル(2週間)…2人部屋、ジム、プール
研修先に持参した方がよいもの	クレジットカード、ティッシュ、割り箸
物価（食費、住居費等 日本の物価と比較して）	やや高い
研修の必要総額 （渡航費、生活費を含む）	総額 650,000円
治安状況	安全
その他注意すべき事項	なし

留学・短期研修等体験レポート（自由記述）

私が研修に参加したのは3週間という短い間でしたが、この研修は私にとって新しいことを沢山知れる夢のような体験でした。最初は初めての海外に少し緊張もしていましたが、一緒に行く先生方、友達のおかげでとても楽しい3週間を過ごすことができました。私はこの研修を通して、リスニングの大切さと日本とアメリカの違いという2つのことに気が付きました。

1つ目のリスニングは、私が留学を通して1番大切であるなど身をもって感じた力です。留学中は私たち日本人1人につき、2～3人の大学生「バディ」がついてくれます。私はバディと昼食や夕食を食べたり、買い物に行ったり、ドライブに行ったりと多くの時間を過ごしました。最初は、聞き取ることが難しかったバディとの会話も回数を重ねるごとに聞き取れるようになっていきました。聞き取れるようになると、それに合わせて自分も話せるので会話をするのがとても楽しくなりました。バディとは、留学が終わってからもSNSで連絡を取り合っているほど仲良くなることができました。

2つ目の日本とアメリカの違いは沢山ありますが、まずは、食事です。ハンバーガー、ピザ、サンドイッチ、フライドポテト、タコス、パンケーキなど、日本ではなかなか毎日食べないものを多く食べました。野菜を食べる機会が少ないので、サラダが食べたくなる日も多くありました。また、レストランやスーパーにあるどの食品も大きくて驚きました。次に、人の温かさです。大学の授業で、現地の大学生にインタビューするという場面がいくつかありましたが、どの学生も笑顔で受け答えしてくれてとても嬉しかったです。他にも、次の人が来るまでドアを開けて待っていたり、すれ違う人と目が合うと微笑んでくれたりととても過ごしていて気持ちよかったです。最後に、週末の過ごし方です。私はホストファミリーと週末に雪山に出かけました。ホストファミリーの親や友達家族、友達の友達などが集まり20人近くで週末を過ごしました。雪山ではハイキングをしたり、ソリをしたり、バギーに乗ったり、銃に触れさせてもらったりしました。日本では絶対にできない経験をする事ができたので、とても良い思い出になりました。

私はこの3週間のアメリカ滞在を通して、日本にいただけでは気付かなかったことを知ることや、絶対にできない体験をすることができました。もし行くか迷っている人がいたら、是非行くことをお勧めしたいです。

【①ウィスコンシン大学ラクロス校短期研修（アメリカ）】研修体験報告書（6）

研修時の 本学の所属・学年	特別支援教育教員養成課程 肢体不自由専攻 3年
研修期間	期間：2023年2月27日～2023年3月21日
研修先の国、研修先・訪問先	国：アメリカ合衆国 研修先・訪問先：ウィスコンシン州
研修参加目的・動機など	元々長期の留学に行きたかったのですが、コロナウイルスの影響でそれが叶わず、諦めようとしていたときにポータルで短期研修の情報を知りました。海外の文化や特別支援教育に興味があったため、短期であっても自分がしたいことができると感じ、この研修に参加しました。
研修参加を考え始めた時期	2022年10月
求められた語学力 及び具体的な準備内容	(求められた語学力) 特にありません (準備内容) 書道の授業をするための準備 日本についてのポートフォリオ
情報収集方法	連携推進課の方や引率の先生、一緒に研修に行く友達 体験報告書、ホストファミリーとのメール
居住環境	初めの約一週間半：ホームステイ 一家に二人の日本人学生。一人一部屋。 とても綺麗な一軒家で、ホストファザー・マザー・高校生二人・大学生二人の六人家族でした。全員とても優しく明るい家庭です。毎日作って下さるご飯も非常に美味しかったです。 残りの二週間：ホテル（ウィスコンシン・ミネアポリス） 一部屋に二人の日本人学生。（ホームステイ先と同じペア） 朝食はビュッフェスタイル。スタッフは皆親切な方ばかりでした。 部屋も非常に清潔で快適に生活できます。
研修先に持参した方がよいもの	<ul style="list-style-type: none"> ・約1か月分のシャンプー・リンス（現地で買おうとするとファミリーサイズのものしかありません） ・防寒性の高いジャケット1枚 ・パソコンもしくはiPad・キーボード (ポートフォリオを作る際に使います) ・風邪薬（かなり乾燥していて、風邪になる人が多かったです） ・現地のsim（アマゾンで注文）

物価（食費、住居費等 日本の物価と比較して）	<p>\$ 1 = ¥130~140</p> <p>食費は大体日本の2倍の値段でした。例えば、ハンバーガー・ポテト・ドリンクで2000円です。</p> <p>住居費は研修費と合わせて事前に払っているので、滞在中に払う費用はありませんでした。</p>
研修の必要総額	<p>総額 約70万円</p> <p>フライト料金 266,230円</p> <p>研修費用 284,145円</p> <p>海外旅行保険 13,100円</p> <p>その他（お土産代、食費など）約13万円</p>
治安状況	とても良いと思います。
その他注意すべき事項	現金は\$50も使いません。クレジットカード文化なので、現金はチップ代（ベッドメイキング等）程度で十分です。チップ用に\$1が数枚あれば良いかと思います。
留学・短期研修等体験レポート	
<p>① 研修によって身についた能力</p> <p>これまで「日本のよさ」について考えることはほとんど無かったのですが、現地で生活したり授業を受けたりする中で、アメリカだけでなく日本のよさにも気付くことができるようになりました。アメリカでは、すれ違って目が合うだけで微笑んでくれる人がいたり、家族での時間をとても大切にしていたりと全てが新鮮でアメリカの良さを感じるばかりでした。また同様にアメリカでの生活を比較したときに、清潔感、伝統ある文化、安全性など日本のよさに改めて気付くことも多くありました。自分もつ固定観念で他国・自国のよさを理解するのではなく、この目で見て、感じたことをそれぞれの国のよさとして理解できたことは非常に有意義な経験だったと感じています。</p> <p>また、アメリカはフレンドリーな方がとても多く、積極的に話題を提供して話しかけてくれたり、流暢な英語を話せなくても私が何を言おうとしているのか一生懸命理解しようとしてくれたりするため、自分からも積極的にコミュニケーションをとることができました。日本では周りの空気を読みすぎて発言しづらくなることがありましたが、アメリカで周りに左右されない発言やフランクに会話を楽しむという積極性を身に付けることもできたように思います。</p> <p>② 研修のどういう部分が教員になる上で役に立ったか</p> <p>私は他国の特別支援教育、特にインクルーシブ教育について非常に興味がありました。日本では課題が多くあまり普及していないインクルーシブ教育ですが、アメリカでは支援体制や環境整備が十分になされていました。手話でコミュニケーションをとる子どもがいるクラスでは周りの友達も手話でのコミュニ</p>	

ケーションを図っていたことや誰でも自由に使うことができるイヤーマフが教室にあることなどが非常に印象的でした。特別支援学校や特別支援学級にしか目が向いていなかった私にとって、障害がある子とない子が一緒に学ぶ本物のインクルーシブ教育を見て、特別支援教育についての視野を広げることができました。

日本の学校では校則によって子どもたちの行動や容姿を統一させることがあります。アメリカの多くの学校では個人の判断を尊重していました。また、家庭では子どもであっても洗濯や掃除など自分のことは自分でしていました。大人がしてあげようとしたり、大人の考えで子どもの行動や容姿を決めてしまったりすることなく、子どもの意思も尊重する自由な文化が非常に魅力的だと思います。私も教員になったときには自分がもつ固定観念に捉われず子どもの判断を尊重できるような人でありたいと強く感じさせられました。